

【既定】	新たな地域交通の整備	予算額	17,972 千円
【既定】	南北バスの運行	予算額	120,367 千円

事業の目的・概要

令和5年度を始期とする「杉並区地域公共交通計画」に基づき、高齢者や障害者をはじめとして、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取組を推進します。

区が目指すゼロカーボンシティ実現を見据え、グリーンスローモビリティ導入に向けた取組に加え、南北バス「すぎ丸」における環境負荷の少ない車両への転換とともに、分かりやすい情報提供等による公共交通の利用促進を図っていきます。

「杉並区自転車活用推進計画」を策定し、自転車活用の幅を広げていくこととし、シェアサイクル事業を民間事業者と連携して取り組んでいきます。

主な取組内容

➤ 「杉並区地域公共交通計画」の運用

杉並区地域公共交通活性化協議会を中心とし、計画に掲げた5つの目標を達成するため、交通事業者等の関係機関と連携を図りながら、施策や取組を推進します。

区民や来街者の回遊性の向上に資するグリーンスローモビリティの取組については、令和6年度の荻窪地域における運行開始に向け、事業計画の作成や関係機関との協議等を着実に進めていきます。

➤ 「杉並区自転車活用推進計画」の策定

自転車利用環境の整備方針や安全利用の方策を総合的に示した「杉並区自転車利用総合計画」及び自転車通行空間の整備について具体化した「杉並区自転車ネットワーク計画」を包含した「杉並区自転車活用推進計画」を新たに策定し、自転車安全利用の促進とともに、環境負荷の低減や健康増進、更には経済性に優れた自転車の活用推進を図ります。また、シェアサイクルについては、令和5年度から事業を実施し公有地等の活用を推進していきます。

➤ 南北バス「すぎ丸」の電気バスの導入

「すぎ丸」のバス車両の買い替えに合わせて、環境にやさしい電気バス（EV）をけやき路線（阿佐ヶ谷駅と浜田山駅を結ぶ路線）で1台導入します。